

# ね、この本よんだ？



2023年度



図書館で発行している『としょかん通信』でご案内した  
「あたらしい子どもの本」のリストです。

絵本、読みもの、テーマ本の三つの柱にわかれた  
ブックガイドとなっています。

紹介した本は、図書館で貸出ご利用いただけます。

このリストが、子どもたち、そして大人のみなさんにとっても  
素敵な本との出会いのきっかけになりますように。

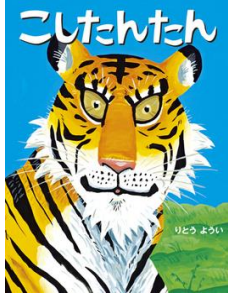


久留米市立中央図書館



## えほん(日本)

### 『こしたんたん』 りとうようい／作 絵本館



みずたまりの水をウサギが飲みに来てきた。息をひそめて草むらに隠れているトラ。「こしたんたん」と狙っていると、シカ、イノシシ、ウシと、次々に水を飲みに来てくる。次第に、期待と欲でいっぱいになっていくトラの表情が大迫力で楽しめます。

### 『ただいま』 豊福まきこ／作 小学館



ポンちゃんは、あらいぐまのぬいぐるみです。ある日、いつもはなかよしのきょうだいポンちゃんをとりあってけんかになりました。ふたりにひっぱられて、しましまのすてきなしっぽはちぎれてしまいました。ふたりとなかよく遊びたかったポンちゃんは、悲しくなってしまう。「ぼくがいないほうがいいのかな…」おもちゃが大好きな子どもたちに読んでほしい絵本です。

### 『ピアノ』 いせひでこ／作 偕成社



音楽がもたらす喜びを描いた、いせひでこさんが初めて手がけたファンタジー絵本です。新しい家に引っこして、クローゼットの中にトイピアノをみつけたのんちゃん。今はもういないおとうさんが、5歳の誕生日に買ってくれたピアノです。のんちゃんは、ひさしぶりに、おとうさんになった「カノン」という曲をひくと、となりの森から、ピアノの音が聞こえてきます。のんちゃんのひく「カノン」とおなじメロディです。優しいタッチの絵もお話と味わってください。

### 『おふろのぼうず』 乾栄里子／作 石井聖岳／絵 ひさかたチャイルド



ふーちゃんがおふろにはいりません。するとタオルのぼうずがやってきて…。あかいタオルのたこぼうずに、あおいタオルのうみぼうず。おおきいタオルのおぼけぼうずに、ちいさいハンカチぼうず。つぎつぎにやってきて、ふーちゃんとあそびはじめます。こんなに楽しいおふろなら、おふろ嫌いの子も思わず入りたくなっちゃうかもしれません。おふろの時間が、楽しくなる絵本です。

## えほん(海外)

### 『なんにもおきないまほうのまいにち』

ベアトリーチェ・アレマーニャ／文  
関口英子／訳  
ポリフォニープレス



大切なゲーム機をなくしちゃった！思いがけずにはじまった、森での冒険。こんなにたのしいことを、どうして今までしてこなかったんだろう！ゲームがないとタイクツ？デジタル時代の子どもたちに贈るおすすめ絵本。世界が注目するイタリア生まれの絵本作家ベアトリーチェ・アレマーニャは、自然に出会い変化していく少年の心を、美しい森の景色と重ね合わせながら、描いています。ニューヨーク・タイムズ最優秀絵本賞受賞作品。

### 『ちょっとだけのにびりするひ』

ウェンディ・メドゥール／文  
ダニエル・イグヌス／絵  
やまもとみき／訳  
化学同人



「いそいで！」と何かするたびにいわれ、ティシャはあさからいそいでばかり。とうとうがっこうがえりに、おかあさんに「いそぎましょ。」といわれたティシャは、なきだしうになっしまい……。

この絵本を読んで、あなたもティシャといっしょにのんびりしてみませんか？いつも見ている世界も、ちょっとだけ違って見えるかもしれません。ゆったりとした時間が心地いい、子どもにも大人にもおすすめの本書です。

### 『あおをはっけんしたちいさなヤン』

みならい えかきのおはなし』  
ジャン・リュック・アングルペール／さく  
はしづめちよこ／訳  
イマジネーション・プラス



ヤンは有名な画家先生のもとで見習いとして働く小さな少年です。ヤンは働きながら画家先生や年上の見習いたちの技術や仕事をいつも見ていました。そして仕事が終わると自分のへやにもどり、夜遅くまで絵を描き続けました。そんなある日、アトリエに伯爵夫妻が訪れて、伯爵夫人のドレスを「最も美しい青色」で描いてほしいと絵の注文をします。しかし、この時代の青色はとても貴重で、材料となる石はカギがかかった棚のなかに入っているほどです。画家先生や年上の見習いたちは大騒ぎ。美しい青色がいったいどうやってできたのか、ぜひこの絵本を読んで確かめてみてください。

### 『パッチワーク』

マット・デ・ラ・ペーニャ／さく  
コリーナ・ルーケン／絵  
さくまゆみこ／訳  
岩波書店



あなたがもっている可能性や適性はひとつじゃない。日々の生活の中で、出会ったもの、感じたこと、いいことも悪いことも、すべてがぬいあわさって、あなたという一枚のパッチワークができていく。どんなパッチワークもとても美しいものになるんだー。ニューベリー賞作家によるメッセージが絵本になりました。卒業・進級などの節目にも読みたい1冊です。

## 読みもの

### 『1ねん1くみの女王さま えんそくらララ』

いとうみく／作  
モカ子／絵  
Gakken



今日は、1ねん1くみが楽しみにしていた遠足の日。でも、つむぎはちょっぴり不安でした。おなじ班に、わがままいっぱい「女王さま」ひめかちゃんがいるから。ひめかちゃんは遠足なのに、ひらひらのワンピースドレスで来て、みんなに急かされても全然急がない。かくれんぼが終わっても一人だけ出てこなくて、はたして1くみは、みんな楽しく帰ってこれるでしょうか？

### 『まこが、おねえちゃんになった日！』

かわしまえつこ／作  
高橋和枝／絵  
童心社



まこはもうすぐおねえちゃんになります。まこが話しかけると、あかちゃんはママのおなかのなかでもこつこつと動きます。まこはあかちゃんが生まれてくるのが待ちきれません。ところがきゆうにあかちゃんが生まれそうになり、病院で待っていると、まこはママのおなかの中に……。まことあかちゃんの不思議な出会いの物語です。

### 『アゲイン』

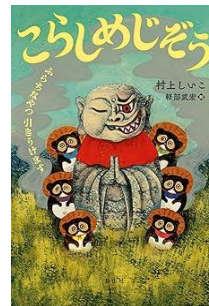
あんずゆき／作  
丹下京子／絵  
フレーベル館



「今晚のごはんは、ぼくひとりなんだ」「お母さんがお仕事の日、お弁当を買って食べるの」そんなとき、子どもがひとりでも入れるのが“子ども食堂”です。フードロスやフードバンク、フードドライブという言葉聞いたことがありますか？小学生のアオイは、あるきっかけで“子ども食堂”を初めて利用します。“子ども食堂”って、どうしてあるんだろう…。そこから、今まで知らなかった世界がぐっと身近なものだった事に気が付きます。この問題に関係ない人なんてひとりもない、人のつながりのあたたかさを感じられる物語です。

### 『こらしめじぞう』

村上しい子／作  
軽部武宏／絵  
静山社



「こらしめじぞう」をしているかな？突然あらわれた、おじぞうさんとタヌキのおきものたち。“友だち同士のマナー”を守らない、ちょっぴりムカつく相手の名前をとなえると、自分の代わりにこらしめてくれるおじぞうさんらしい。一度だけならたいたことないよね……。そんなかたい気持ちで名前をとなえてしまった主人公たちの望みどおり、いじわるなやつをこらしめてくれたけど……。あれ？ そんなつもりじゃ……。あなたも名前をとなえられないように気をつけて……。こわくておもしろい新シリーズ短編集！



## テーマ本

### 『家でできる！ わくわくエンジニアリング』

ロブ・ビーティー／文 ワム・ピート／絵  
五十嵐いづみ／訳 ガリレオ工房／監修  
ほるぷ出版



「エンジニアリングとは、作って、いろいろ試して、問題を解決することだ。」

この本には、「紙の柱」のような簡単なものから、「ゆれるつり橋」などの少し難しくても時間がかかるものまで、いろんな工作がのっています。工作を支える原理のおもしろさについても書かれているので、実際に何が起きているのかもわかりやすくなっているよ。ぜひ、挑戦してみてね。

### 『錦鯉を創る 新潟から世界へ』

松沢陽士／写真と文  
小学館



この本には日本発祥の観賞魚“錦鯉”がどのような土地で誕生し、育てられていくのかが写真と文章でくわしく書いてあります。錦鯉は色や模様のちがいで、それぞれに名前がつけられるそうです。現在では海外での人気が高まり、アジアをはじめ、アメリカやヨーロッパなど40か国以上の国々に輸出されています。和田卓さんが育てた「ねず黄金」と「孔雀黄金」の間に生まれた錦鯉「麒麟」が本当に美しいので、ぜひ読んでみてください。

### 『くるまのなかには？』

石橋真樹子／さく  
福音館書店



街でよくみかけるはたらく車たち。忙しそうに走る様子はとってもカッコいいですが、車の中にはどんな荷物がのっているのか、想像したことはありませんか？この絵本では、郵便車、引っ越しトラック、宅急便など、作者が綿密な取材を重ね、どんなものがどのくらい載っているのか、ずらりと描き出されます。はたらく車の中を一緒にのぞいて、楽しく想像を広げられる1冊です。

### 『世界の文化遺産になった 日本の伝統『風流踊』3』

中国・四国・九州』

『日本の伝統「風流踊」』制作委員会／編著  
汐文社



ユネスコの無形文化遺産となった日本の「風流踊」。その土地の歴史や風土に根ざしたもので、古くから傳承されてきました。盆踊りなどもそのひとつです。今までは次の世代へと順々に伝えていくことができていましたが、近年、傳統を受けつぐ若い世代の担い手が減っています。そんな日本各地の「風流踊」の由来や踊りの流れ、衣装、道具などをくわしく解説しています。